

鶴鳴女短大 湯川 聡子

1. 夫婦共働きの婦人がその職業生活および家庭生活においてどのような状況にあるか、現行の職場体制や、社会慣行、社会制度、都市や地域の生活空間構成が、その生活にいかなる矛盾をもたらしているかを明らかにしようとする。大学を卒業して専門職に従事する既婚婦人を対象とし、かかる上層ホワイトカラーの生活要求と行動パターンを明確に把握し、“共働き社会”の社会的、都市空間的条件整備のための基礎研究資料にする。

2. 主要大学卒業生名簿より、有職者、無職者合わせて1000名の既婚者を調査対象として抽出し、郵送によるアンケート調査を行なう。

3. 無職者の調査によって、既婚婦人が職業を継続し難い職業的特性、家庭的状況、生活空間的条件を明らかにしようとする。有職者の調査によって、結婚生活と調和しやすい職業的条件、家庭的条件、生活空間的条件を明らかにする。転職経験、別居経験、将来の転勤予定などから、ホワイトカラーの職業的特性が現行都市の空間条件と結びついてどのような生活矛盾を露呈しているかを追求する。

4. 関連文献

- 1) 湯川聡子：大学卒業女子の就業状況：九州家政学会誌（1967）
- 2) 同上：“共働き社会”の生活構造と生活空間の研究：日本建築学会大会論文集（1967）